

事業所名：	ひまわりキッズα	支援プログラム		作成日	2025年	3月	24日
事業所理念	1.子どもたちの笑顔があふれ、安心して過ごせる居場所となる。 2.「あなただけを見つめている」をモットーに子どもたち一人一人と向き合います。 3.様々な経験を通して、可能性を広げ、自分らしさを見つけます。 4.子どもの支援だけではなく、家族が抱える問題や悩みを共にサポートしていきます。						
支援方針	集団クラス	1.集団生活の中で他者と尊重し合う支援 2.将来を考え、自立を重視した支援 3.挨拶、礼儀等、社会性が身に付く支援					
	個別クラス	1.子どもの特性に合わせた支援 2.個別対応を中心に、出来ることを一つずつ増やしていく支援 3.少人数に分け、能力に合わせたプログラム					
営業時間	〈放課後〉 13:00～19:00		送迎実施の有無	あり・なし			
	〈学校休業日〉 10:00～16:00						
5領域		主なプログラム名	支援内容				
本人支援	〈健康・生活〉 ・日常生活に必要な健康管理や生活スキル向上の為の支援	生活訓練(生活スキル向上)	タオルや衣類を畳む練習や掃除の方法、身支度や整理整頓など日常生活に関わる支援プログラムを行う。				
		お弁当・昼食作り	スタッフが調理した具材をお弁当箱に詰めたり、事前に児童間で昼食メニューを考案する会議を行い、買い出しから調理まで自分たちで行う。				
		おやつレク	おやつを作る工程(分量を計る、混ぜる、分ける)などを自分たちで行い、調理を体験する。				
		フードツアー	月ごとに各都道府県や世界の文化を学ぶと共に、郷土料理を提供し知識を深め、食育を行っている。				
	〈運動・感覚〉 ・身体を動かすことや感覚の発達を促す活動	ヨガ	講師を招き、児童の能力に合わせたヨガを行う。様々なポーズをすることで普段使わない筋肉を動かし、体幹を鍛える。				
		リトミック	集団での合唱や、様々な楽器を使った合奏、音楽に合わせて身体も動かし、音楽を身体全身で楽しむ。				
		製作	季節に合った製作を行い、児童各自が持つイメージを形にする楽しみを感じたり、手先を使うことで巧緻機能の訓練を行う。				
		作業プログラム	封入・タオル袋入れ・計量・紐通し・ねじ回し・パソコンの文字入力・など手先を使う作業や社会に出たときに活用できるスキルを育む。				
	〈認知・行動〉 ・認知能力や行動の理解を深める為の支援	買い物訓練	本物のお金を使用した買い物訓練を行い、購入までの一連のフローを経験することで買い物に必要なスキルを養う。				
		お茶会	講師を招き、茶道の基本的な動作や作法を基礎から学び、日本の伝統的な文化を体験する。				
		生活訓練(SST)	様々な場面を想定した適切な行動や言動をシュミレーション形式で学ぶ。				
		外出	様々な場所に公共の交通機関を使用し出掛けることで、公共マナーやルールを学ぶ。				
	〈言語・コミュニケーション〉 ・言語能力やコミュニケーションスキルの向上を目指す支援	英語	遊びを通し英語(外国語)に触れることで、学校教育にもある英語への拒否感や抵抗感なく英語が好きになる機会を提供する。				
		外出	様々な場所に公共の交通機関を使用し出掛けることで、公共マナーやルールを学ぶ。				
		生活訓練(SST)	様々な場面を想定した適切な行動や言動をシュミレーション形式で体験する。				
		書道	講師を招き、書道指導を通して、漢字やひらがなの形成を学ぶとともに集中力を養う。				
〈人間関係・社会性〉 ・他者との関係を築く為の社会的スキルの支援。	外出	様々な場所に公共の交通機関を使用し出掛けることで、公共マナーやルールを学ぶ。					
	外遊び	児童間で外で何をして遊ぶか決め、集団でルールのある遊びを行う。また、遊具の貸し借り、順番を守るなど社会性を遊びの中で体験する。					
	ゲーム屋さん	縁日遊びプログラム。ゲーム屋さんや食べ物屋さんの役割体験を通し、ルールの説明や食べものの提供をする際の言葉使いや適切な行動を学ぶ。					
	作業プログラム	封入・タオル袋入れ・計量・紐通し・ねじ回し・パソコンの文字入力・など手先を使う作業や社会に出たときに活用できるスキルを育む。					
家族支援	保護者参観・懇談会	保護者と児童が合同で事業所のプログラムを体験する。また、保護者同士の交流の機会を作り、日々困っている事などを共有できる場の提供をする。					
	生活発表会	目標を持ち本番に向け練習を行い保護者の前で発表をすることで、目標を達成する成功体験の機会を提供する。また保護者が児童の事業所での様子を参観する機会を作る。					
移行支援	作業所訪問(作業プログラム)	近隣の作業所を訪問し、実際の作業の体験や交流を行う。また、事業所で作業所で行われている事を模範に作業プログラムを行う。					
地域支援・地域連携	地域機関と連携した保護者懇談会	児童家庭支援センターや近隣の保育園と連携し、子育て支援の講演会を含む保護者懇談会を行う。					
	地域行事の参加	近隣のお祭りに参加したり、出初式や神奈川大学文化祭など地域で行われている行事にも足を運び、地域との交流の場を設ける。					
主な行事等	季節に合わせた様々な行事を通し、伝統や歴史、マナーを学ぶ。(お花見・七夕遊び・緑日・水遊び・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー・ドッチボール大会・不思議工作など)						
職員の質の向上	研修(毎月)	職員の質の向上を目的に、毎月研修会を開き、総合的な支援ができるよう学びの機会を確保している。					